

Ⅲ-01_配置計画

○建物配置計画

- ・東側及び北側の隣地への日影の影響を最小限とし、現状より改善することを前提とした建物配置とする。
- ・イベント広場や中庭などの外部空間を取り囲むような建物配置とする。
- ・西側前面道路側は、道路境界線より約2m程度セットバックし将来の歩道用地として確保する。
- ・都市計画道路（3.4.3 役場前通線）施工後の施設としての構えを意識した建物配置とする。

○駐車場配置計画

- ・駐車台数 65 台（内車いす用 2 台）、駐輪バイク置場 26 台（屋根付き、分散配置）を計画する。
- ・南側前面道路からの出入口は、現状より広くとり視界を十分に確保し安全性に配慮する。
- ・駐車場は全体が見渡せる平面計画とし、安全性や利便性に配慮する。
- ・いずみ号、市内循環バスの待機スペースは、敷地奥に確保し安全性に配慮する。
- ・検診車両（最大 L9980×W2490×H3560/12.8 t）が乗り込める車道幅、路盤強度を確保する。

○外部動線計画

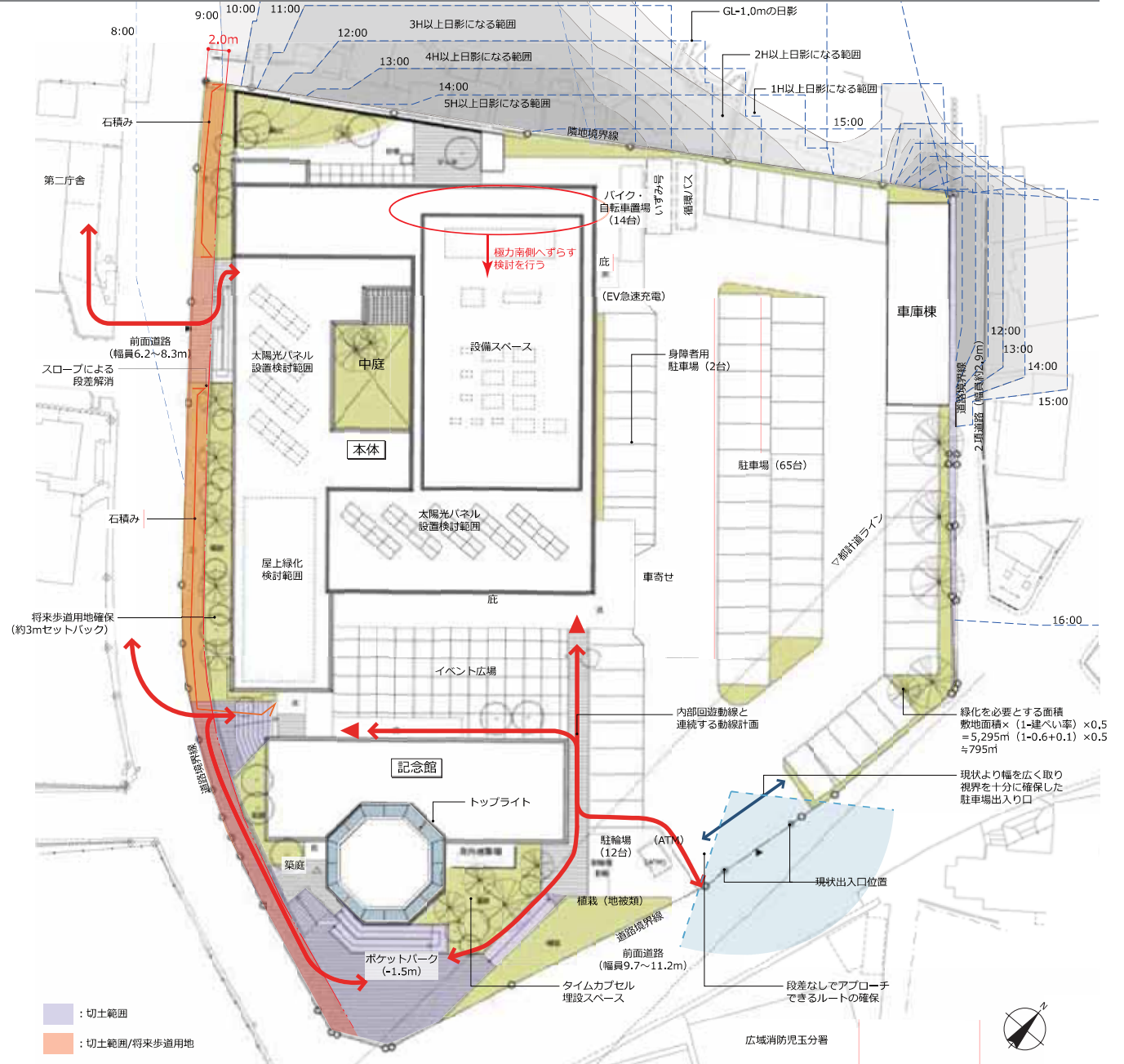
- ・施設メインエントランスと車寄せが一致する誰もがわかりやすいアプローチとする。
- ・イベント広場やポケットパークなど外部空間と内部回遊動線が連続するような動線計画とする。
- ・前面道路との高低差はスロープ等で段差解消をし、段差なしで施設へのアプローチができるルートを確認する。
- ・第二庁舎への動線及びポケットパークから記念館へのアプローチは、階段にスロープを併設するよう検討する。

○外構計画

- ・イベント広場舗装は、検診車両の乗り入れや臨時駐車場としての利用想定をした耐荷重及び仕上げ材料とする。
- ・既存石積み擁壁をやり替え、石の再利用は検討とする。
- ・敷地内の視認しやすい位置に懸垂幕を計画する。
- ・築庭内に、既存タイムカプセルの埋設スペースを確保する。
- ・既存 ATM は残置とする。

○植栽計画

- ・関係法令を遵守した敷地内緑化を計画すると共に、市民の憩いの場として相応しい植栽計画とする。
- ・維持管理に配慮した植栽計画とする。
- ・敷地出入口付近は、安全性、視認性の確保のため立木による植栽は極力避け、地被類をベースとした計画とする。



Ⅲ-02_平面計画

○全体ゾーニング

- ・メインエントランスから各機能配置がわかりやすいよう機能毎にまとまりのあるゾーニングとし、利用時間帯の違いやセキュリティ、維持管理性に配慮した平面計画とする。
- ・イベント広場や中庭、ロビーなどの内外共有空間を介して各機能が多様な関係性を創りだすことのできる平面構成とする。

○動線計画

- ・各機能を回遊動線によりつなぎ、各機能の独立性と多様な関係性を創りだす動線計画とする。
- ・内外一体利用を積極的に想定し、フレキシブル性を確保する。
- ・メインエントランスからわかりやすい位置に縦動線（階段、ELV）を配置する。
- ・バリアフリー/ユニバーサルデザインに配慮した計画とする。
- ・外部階段を設置し、二方向避難動線を確保する。

○行政窓口機能

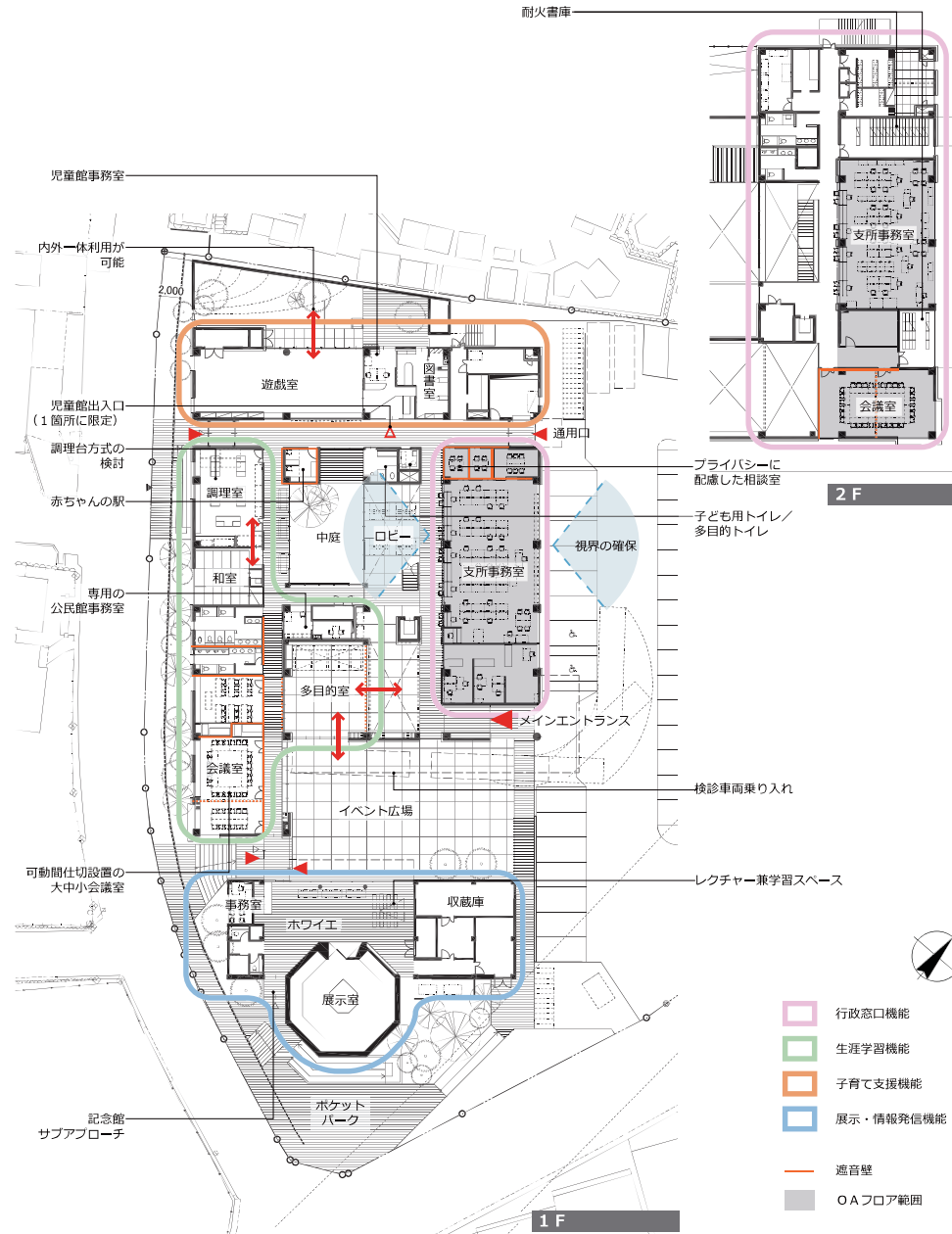
- ・想定配置課係は以下とする。
 - 1F) 市民福祉課（市民係、保険子育て係、福祉係、税務係）
 - 1F) その他水道窓口、社会福祉協議会、シルバー人材センター
 - 2F) 環境産業課（環境係、産業係）
 - 2F) 総務課（地域振興係、庶務係）
- ・敷地のほぼ中央に配置し、施設内及び駐車場等敷地全体を見渡せるよう配慮し、極力死角のないよう計画する。
- ・メインエントランスにより近い位置に配置し、高いサービス性を確保する。
- ・書庫は耐火書庫（ガス消火）とする。
- ・相談室のプライバシーに配慮し、遮音性を確保する。

○生涯学習機能

- ・専用の公民館事務室をエントランスホール脇に確保する。（配置1名）
- ・会議室は大中小3室確保し、可動間仕切りにより一体利用が可能なように計画する。
- ・調理室と和室は隣接配置し、直接相互入りできるように出入口を確保する。
- ・調理室は別用途利用も可能なように、可動式調理台の検討を行う。
- ・利用団体用収納スペースを確保する。
- ・多目的室は可動間仕切りによってエントランスホール側に機能拡張が可能な計画とする。
- ・遮音対策を施すと共に、業務に支障のないよう音での活動は極力夜間や休日の利用を促す。

○健康づくり機能

- ・特定健診、各種がん検診、乳幼児健診が対応可能なよう主に生涯学習機能諸室を利用する計画とする。
- ・多目的室は、健診時に拡張して利用できるよう可動間仕切りを設置する。またイベント広場に隣接させ、検診車両との動線を考慮する。
- ・検診用什器の収納スペースの確保と手洗いを設置する。



○展示・情報発信機能

- ・記念館は、その特殊性から他機能とは分節配置し、独立性を確保する。
- ・イベント広場側にメインの入口を設けると共に、ポケットパーク側にもサブの入口を計画する。
- ・団体利用時のパツファとして、ホワイエやイベント広場を想定した計画とする。
- ・映像による説明を行うレクチャー兼学習スペースを確保する。
- ・展示室は、現状の展示計画をベースとする。
- ・展示ケースは展示室同等の調湿度管理とする。
- ・収蔵庫は30m程度確保し、外部環境に影響されにくい仕様とする。

○子育て支援機能

- ・セキュリティに配慮し、出入口を1か所に絞り入退館管理できるように計画する。
- ・児童館事務室は、内外見渡せる配置とし視界と安全性を確保する。
- ・子どもトイレや、多目的トイレ、赤ちゃんの駅を児童館に近接したゾーニングとして利便性を高める。
- ・床材は、安全性や衛生面に配慮した素材を選定する。
- ・図書室の一部は、掲示物等の作業スペースとして兼用しフレキシビリティに配慮する。
- ・遊戯室倉庫、外部倉庫、洗濯機置場を確保する。
- ・外部水栓、砂場、築山、デッキスペース等を計画し、積極的な内外一体利用が可能な計画とする。

○防災機能

- ・一時避難場所として生涯学習機能の和室、多目的室を想定する。
- ・児玉地域の防災拠点、災害対策本部代替施設として行政窓口機能の2階事務室、2階会議室を想定する。
- ・職員等詰所として生涯学習機能の会議室2・3を想定する。
- ・建物のバリアフリー化や防災行政無線、防災倉庫、土のう置場を確保する。
- ・マンホールトイレ3か所、炊き出しスペース、シャワー設備を確保する。
- ・太陽光発電と風力発電のハイブリッドタイプのエコ外灯を設置する。

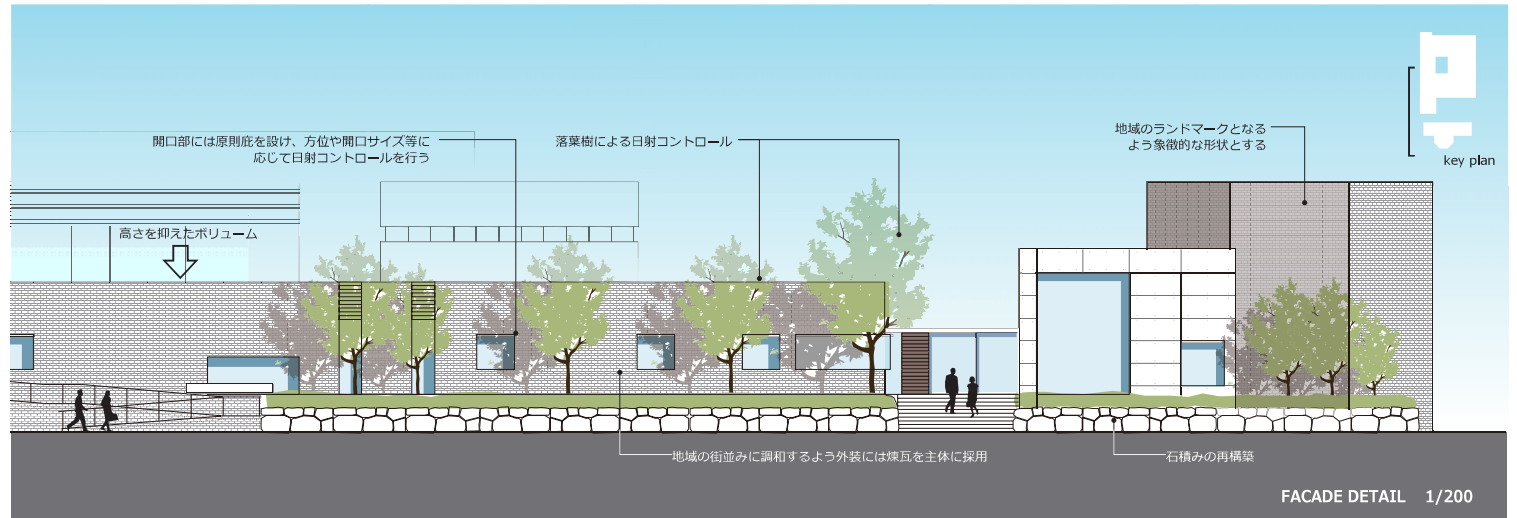
○その他共用部

- ・検診利用等も考慮に入れた位置にトイレを計画する。
- ・駐車場側北側に通用口を設け、警備室を配置する。
- ・エントランスホール脇に自販機コーナーを設置する。

III-03_立面計画

○景観 / マテリアル

- ・地域に調和する外観となるよう自然素材をベースに検討し、外装には煉瓦を主体に採用する。
- ・基壇には既存の石積みを再構築し、地域の記憶を継承する。
- ・地域の身近な公園のような景観を創りだし、気軽に立ち寄れる施設となるよう配慮する。
- ・西側ファサードは、周辺への圧迫感を与えないよう高さを抑えた建物ボリュームとする。また、適度にボリュームを分節させ、地域のスケール感に調和させる。
- ・南側ファサードは、主要幹線道路が二股に分かれる場所に位置するため、象徴的なボリュームを形成し地域のランドマークとして位置付ける。
- ・東側ファサードは、施設の顔として来館者を迎え入れるような構成とする。またイベント広場と駐車場が隣接するため、透かし煉瓦積み目のスクリーンにより歩車分離と視線の広がりをも両立する境界を形成する。
- ・北側ファサードは、目隠し壁や築山によって隣地とのバッファを形成し、子どもの遊び場として豊かな空間を形成する。
- ・塙保一記念館は、本体とは切り離し、独立性を確保する。



III-04_断面計画

○断面ゾーニング

- ・行政窓口機能の一部を除き平屋建てを基本とする。
- ・市民福祉課カウンターや公民館、児童館、記念館の利用型機能を1階にまとめることで、利便性と賑わいを創出する。
- ・行政窓口機能のサービス部門（更衣、休憩、倉庫、書庫等）、総務課及び環境産業課カウンターはコンパクトに2階に設け、効率性に配慮する。
- ・敷地の中央部分に位置する2階屋上にキュービクルや発電機、室外機置き場を計画することで、近隣への圧迫感や騒音の影響を軽減する。

○各部断面計画

- ・設計GLをT.P.+102とし、Z1レベルを設計GL+100に設定する。
- ・基本階高を1,2階共4,000mmに設定する（検討中）。
- ・基本天井高を2,700mmに設定する（検討中）。
- ・多目的室や遊戯室などの比較的大部屋の天井高は6,700mmとする（検討中）。
- ・適切な庇の計画や開口部の設定等をし、自然採光や自然通風、自然換気など自然エネルギーを最大限享受可能な断面計画とする。
- ・記念館展示室は、上部トップライトから採光をとり、透かし煉瓦積みスクリーンを透過させた安定した光を取り込む。

